

2023年度 事業報告書

2023年4月1日～2024年3月31日まで

特定非営利活動法人
クラーク博士別れの地・久蔵の里普及促進会
(略称：NPO法人クラーク会)

1. 2023年度の事業成果

中期4ヶ年計画の2年目となる2023年度の主な事業成果は次の通りです。

1) クラーク像建立事業（クラーク像建立委員会）

- (1) 2022年度に旧島松駅通所前に取得した像建立用地（約100坪）の草刈りを3回行いました。
- (2) 北海道各地にある銅像に詳しい小沢信之氏（元道新記者、論説委員）よりその歴史等をお聞きしました。
- (3) 本郷新記念札幌彫刻美術館館長の吉崎元章氏から、一般的な銅像制作の流れ（作家選定→イメージデザイン・マケット→制作（粘土）→石膏取り（石膏原型）⇒鋳造→基礎・台座づくり・銘板作成→設置→除幕式）の説明を受け、この中で次の指摘がありました。

- ・一番優先されるのは作家選定であるが、馬と人物像という大作を制作可能な彫刻家がいるかは未知数。
- ・馬と人物像という大作なので、作家選定や制作、鋳造を考えると、あまりゆっくりとしていられない。

- (4) 馬上のクラーク博士像建立有識者検討委員会を、2024年1月20日北広島市芸術文化ホールにおいて山口淳二北大副学長（当会顧問）、藤田正一北大名誉教授（当会顧問）出席のもと開催し

- ・クラーク博士の容姿は広く知られている写真をモデルとし、北大構内設置の博士胸像を参考とする。
- ・クラーク博士のポーズは、馬上で帽子を右手に持って別れの言葉を叫んでいる様子を表現する。
- ・馬は黒鹿毛の和種馬とし、動きだしそうな躍動感のある姿勢を表現する。

については了承されました。

次に馬上のクラーク博士像のイメージ油彩画『別れを告げる馬上のクラーク博士』（星槎道都大学特任教授安田裕三作）に対して、今迄のクラーク像建立委員会で作されている意見集約項目毎に追加意見が出されました。

- ① 躍動感に欠ける面がある
 - ・馬の脚を上げさせたらどうか
 - ・尻尾をたなびかせたらどうか
 - ・馬の頭を上にあげるようにする
- ② 鞍の位置が後方過ぎる
 - ・馬胴が長すぎる
- ③ 馬像に対して人物が小さい
 - ・クラークの姿勢が猫背すぎるので胸を張るように
 - ・伊達政宗像のような人物と馬のバランスが望ましい
 - ・クラーク博士が言葉を叫んでいる様子は必要ないか
- ④ アブミの位置が低すぎる
 - ・馬の首に近い方にする
- ⑤ 帽子を持った右腕の角度に工夫が必要
 - ・右手に帽子を持たせたらムチはどうするのか

- ⑥ 台座の高さは1.0mをメドにしたらどうか
 - ・基本的には良いが台座に文字を入れるかどうかで異なるかも
- ⑦ 馬種については黒鹿毛の和種馬とする
 - ・各種史料文献から南部馬と決めた方がよい（140～180cmの体高の馬が存在した）
 - ・モデルと成り得るのは、明治天皇の愛馬「金華山号」を参考とする。
- ⑧ 選定作家によるイメージデッサン画数点を当有識者検討委員会で審議し、最終決定する。

2) クラーク精神普及事業（クラーク精神普及委員会）

① 小中学校生徒への講話の実施

コロナ禍で2020年度より3カ年実施出来ませんでした。5類引き下げに伴い「講話」実施の受け入れが可能となり、下記の4校で実施しました。

- 2023年11月 緑ヶ丘小学校6学年、
- 2024年1月 緑陽中学校2学年
- 2024年2月 双葉小学校6学年、北の台小学校6学年

(生徒からの要望・感想)

- ・分かりやすい工夫がほしい
- ・質問して欲しかった
- ・飛ばした所が聞きたい
- ・知らないことも有り良かった
- ・ためになる話だった
- ・校則無しに驚いた
- ・博士の札幌農学校は、今と同じような新しい教育をしたんだ（発表、実習、フレンドリーな関係）
- ・今までぼんやりしたイメージだったけど、説明を聞いて人生を豊にするすごい言葉だと感じた
- ・内容が多すぎて、むずかしかった
- ・「大志」についての説明がむずかしかった

(児童・生徒のアンケートから)

「北広島市が The ambitious city としていること」の認知度が意外と低かった。

北広島市の The ambitious city を「知らなかった」との回答数：

- 緑ヶ丘小学校6年 30名中20名
- 緑陽中学校2年 25名中16名

② 「第2回クラーク博士と音楽の夕べ」（講演とコンサート）を、9月1日午後6時半から札幌市時計台ホールで開催しました。

この催事には、札幌市や北広島市から約140名の参加があり、会場は満席となりました。

講演に入る前に、藤田理事長から挨拶があり、このなかで「クラーク博士の馬上像」建立事業の進捗状況について紹介があり、参加された皆様にご寄付のご協力をお願いしました。

講演では、本会顧問である藤田正一北大名誉教授が「武士道精神とクラーク精神の奇跡の邂逅(かいこう)」と題するテーマでお話をされました。

クラーク博士の人生に大きな影響を及ぼした偶然の出来事や、初期札幌農学校生徒たちが博士の「高邁なる大志」の教えを貪欲に吸収した背景に伝統的な武士道があったことなどが紹介されました。

講演後は、「ダンディ・フォー」（メールカルテット）によるコンサートがあり「あの鐘を鳴らすのはあなた」ほか素晴らしいハーモニーを響かせ、聴衆は夏の夜のひと時を楽しんでいました（クラーク精神普及委員会、基金募集委員会）

③ 10月26日に「秋の北大を歩く」見学ツアーを開催しました。

当日は午前10時に北大正門に集合し、正門横の構内案内板で秋林幸男ガイド(理事)から北大キャンパスと見学ツアーのスケジュールの説明の後、クラーク博士像前で記念撮影し、藤田正一ガイド(北大名誉教

授、顧問)と2班に分かれて、百年記念館、大学文書館、ポプラ並木、新渡戸稲造記念碑、北大総合博物館、黄葉したイチョウ並木を通り、札幌農学校第二農場(モデルバーン)までガイドの説明を聞きながら歩きました。

この日は朝から穏やかな秋晴れとなり、昼食時間も含め5時間におよぶツアーに疲れを見せず、熱心にガイドの説明にメモを取りながら、札幌農学校時代からの約150年の歴史を辿りました。

ツアー参加者から、北大キャンパスは広大で貴重な資料が沢山あり時間が足りなかったため、このようなイベントを今後も企画して欲しいとのご意見がありました。

3) 観光振興及び活性化への貢献事業 (観光振興委員会)

4月9日～13日の期間で「第3回クラーク博士別れの日記念パネル展」をエルフィンパーク広場で開催しました。このイベントは、札幌農学校(現北海道大学)の初代教頭ウィリアム・スミス・クラーク博士が、1877(明治10)年4月16日に島松沢で学生達との別れで『青年よ 大志を懐け “Boys, be ambitious !”』の名言を残し、馬に乗って旅立たったことを記念して開催しているものです。

今回のパネル展も星槎道都大学美術学部特任教授安田祐三画伯に描き上げていただいた、油彩画『別れを告げる馬上のクラーク博士』の紹介をメインにして、

- ① クラーク博士の教え子大島正建の著書『クラーク先生とその弟子たち』などの紹介
- ② クラーク会が主催した講演会やシンポジウム、バス見学会などの紹介
- ③ 名言 “Boys, be ambitious !” の15年の空白、そして復活の歩みの紹介
- ④ 「きたひろTV」が製作したクラーク博士に関するビデオの放映

などを展示しました。5日間のパネル展でしたが、延べ388名の来場者に来て頂き、クラーク博士に対する関心の高さがうかがえました。

4) 広報活動及び会員拡大活動事業 (広報活動委員会)

当会の活動の普及と会員拡大を図るため、会報「クラーク会だより」の発行とホームページの維持・更新を進めており、2023年度も会報24号、25号、26号を発行すると共に、ホームページでは会の活動状況をタイムリーに掲載してまいりました。

5) クラーク像建立及び久蔵の里開発基金募集事業 (基金募集委員会)

①基金募集委員会の中に札幌班を設置(2023.8.1)しました。体制は藤田理事長、松本理事、坂井(紳)理事、中村理事、松尾理事とし、必要に応じて理事の応援をお願いすることにしました。活動内容としては、基金募集委員会(札幌班)を毎週水曜日10時より定例開催し、協議・打合せ・情報交換の上、企業・団体を訪問してクラーク会への支援要請をいたしました。

待ち合わせ及び休憩場所として基金募集委員会(札幌班)の拠点事務所を下記に設定しました。

- ・場所 札幌市中央区南2条西6丁目14 大友ビル
北海道日韓友好親善協会連合会・札幌日韓友好親善協会の会議室
会長 中村 茂樹 事務局長 鳴海晴三(クラーク会正会員)
毎週水曜日10時～16時予約

② ルート開発

- ・北大本部・校友会エルム(全国組織)・各学部同窓会との連携
特に歯学部同窓会はアンビシャス基金に対応いただくと共に、2024年1月発行の同窓会誌「延齡草」を全国の会員1600人に送るとき、クラーク会が作成したアンビシャス基金リーフレットを同封していただくことになりました。
- ・札幌商工会議所との連携
アンビシャス基金に対応いただくと共に、札幌商工会議所の機関誌「さっぽろ経済」10月号へのクラーク会の記事の掲載(半頁)及びアンビシャス基金リーフレットを同封(商工会議所の添え状付き)し、

160部発送して頂きました。さらに、「道商連」情報誌「HCI」へクラーク会の記事の掲載及びアンビシャス基金リーフレット300部を同封して頂きました。

・北海道医師会との連携

松家会長がクラーク会顧問に就任、アンビシャス基金にも対応頂きました。

北海道医師会の機関誌「北海道医報」（2023年11月1日発行）を会員8,500名へ送付時に、アンビシャス基金リーフレットも同封して頂きました。また、本部用として100部お届けしました。

・北海道歯科医師会との連携

北海道歯科医師会の藤田会長がクラーク会顧問に就任、アンビシャス基金にも対応頂きました。

・2023年度の法人対応成果

数値：法人数

アンビシャス基金	訪問法人	顧問就任法人	入金困難法人
入金済	27	20	0
未入金	18	7	8
計	45	27	8

注) 法人への訪問は入金済みになるまでには複数回訪問したが、何回訪問しても1法人とした。

④ 個人対応の成果

会員の皆様のご支援に感謝します。役員自らの基金対応や友人知人関係先への大きな働きかけがありました。

⑤ 「アンビシャス基金」の募金状況

2024年3月末現在（2022.11.1～2024.3.31）の「アンビシャス基金」への募金状況は、下記の通りです。

・個人	234件	6,719,000円
・法人	32件	5,840,000円
合計		12,559,000円

具体的な一年間の活動状況は以下の通りです。

2023年

4月6日 第1回理事会 2022年度通常総会の進め方の審議及び別れの日記念イベントの最終確認

4月9日～13日「第3回 クラーク博士別れの日記念パネル展」の開催(エルフィンパーク交流広場)

期間中の来場者：388名

4月15日 2022年度会計監査及び業務監査

4月22日 第2回理事会 2022年度通常総会議案書の審議

5月10日 2022年度通常総会議案書の発送作業

5月20日 2022年度通常総会の開催

正会員数：179名、総会出席者：33名、委任状：99

2022年度通常総会議案書は、正会員の過半数の賛成をもって承認されました。

5月20日 第3回理事会 役員改選に伴う役員体制の議決

5月31日 馬上像建立用地の草刈り(役員6名)

6月10日 第4回理事会 2023年度役員担当業務及び活動計画線表の審議、会報24号の検討

6月28日 北広島市へ2022年度事業報告書提出、市長・市幹部及び商工会会長、観光協会会長へご挨拶

7月8日 会報「クラークだより」24号の発行・発送

7月20日 道へ認定NPO法人関連2022年度事業報告書の提出

- 7月22日 第5回理事会 「第2回クラーク博士と音楽の夕べ」(9月1日開催 札幌市時計台)の審議
- 7月25日 法務局へ役員変更届及び定款変更届の申請
- 8月12日 第6回理事会 「第2回クラーク博士と音楽の夕べ」の詳細検討及び会報25号の検討
- 8月22日 馬上像建立用地の草刈り(役員3名)
- 9月1日 「第2回クラーク博士と音楽の夕べ」(札幌市時計台) 出席者：139名
- 9月2日 第7回理事会 会報25号の検討及び北大見学ツアーの検討
- 10月7日 北海道大学キャンパス見学ツアーのチラシ・ポスター発行・掲示
- 10月12日 上野市長との懇談(取組み状況の説明)
- 10月14日 会報「クラークだより」25号発行・発送
- 10月21日 第8回理事会 北大見学ツアーの最終確認及び「第4回別れの日記念パネル展」の検討
- 10月26日 北海道大学キャンパス見学ツアーの開催 出席者：18名
- 10月31日 馬上像建立用地の草刈り(役員2名)
- 11月8日 2023年度中間会計監査及び業務監査
- 11月24日 クラーク精神普及講話(緑ヶ丘小学校6年生：35名)
- 11月25日 第9回理事会 会報26号の検討及び「アンビシャス基金募集リーフレット」の見直し検討
- 12月17日 第10回理事会 会費未納会員への対応の検討

2024年

- 1月13日 第11回理事会 「第4回別れの日記念パネル展」の検討
- 1月18日 会報「クラークだより」26号発行・発送及び札幌商工会様会員への基金募集依頼の発送
- 1月20日 馬上のクラーク博士像検討委員会による顧問との意見交換会
- 1月25日 クラーク精神普及講話(緑陽中学校2年生：32名)
- 2月2日 クラーク精神普及講話(双葉小学校6年生：47名)
- 2月6日 クラーク精神普及講話(北の台小学校6年生：75名)
- 2月17日 第12回理事会 「第4回別れの日記念パネル展」の審議及びクロネコメール便の取り扱い検討
- 3月16日 第13回理事会 会報「クラークだより」27号の検討及び2023年度通常総会の進め方検討
- 3月16日 「第4回別れの日記念パネル展」のチラシ・ポスターの発行・掲示配布

2. 事業の実施内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の 事業名	事業内容	実施 月日	実施 場所	延参加 人数	受益対象者の 範囲及び会員 以外の参加人 数(再掲)	事業費の 決算額 (千円)
クラーク像 建立及び久 蔵の里開発 事業	<ul style="list-style-type: none"> ・馬上のクラーク博士像の検討(検討委員会) ・像建立用地の草刈り 	10/21, 11/25 12/17, 1/13, 1/20, 5/31, 9/22, 10/31	北広島市	70人	北広島市及び その周辺地域 の住民 10人	19千円
クラーク精 神の普及事 業	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校へ講話実施依頼文 書発送 ・普及講話の実施 ・講話教材の見直し検討 ・講演会の開催(時計台) ・北大見学ツアーの開催 	(2月) 11/24, 1/25, 2/2, 2/6 8/19, 9/19, 10/10, 9/1 10/26	北広島市	270人	北広島市の生 徒・関係者及 び全道・全国 の住民、 230人	35千円
観光振興及 び活性化へ の貢献事業	<ul style="list-style-type: none"> ・クラーク博士別れの日記念 パネル展の開催 (エルフィンパーク広場) 	4/9～4/13 1月～3月 (次年度実 施検討)	北広島市	480人	北広島市及び 全道・全国の 住民 430人	33千円
広報活動及 び会員拡大 活動事業	<ul style="list-style-type: none"> ・会報の発行 ・ホームページの維持更新 ・会員拡大活動の推進 	7/8, 10/14, 1/18, 随時 随時	北広島市	2850人	北広島市及び 全道・全国の 住民 2100人	133千円
基金募集事 業	<ul style="list-style-type: none"> ・アンビシャス基金募集訪問 ・基金募集委員会 	随時 随時	北広島市 及び近郊 市町村	670人	北広島市を中 心とした企 業・住民及び 全国・全道の 企業・団体等 350人	610千円

(2) その他の事業

定款の 事業名	事業内容	実施予定 月日	実施予定 場所	従事者の 予定人数	事業費の 決算額 (千円)
関連商品開 発事業	<ul style="list-style-type: none"> ・クラーク博士及び久蔵翁にちなんだ関連 商品の開発検討 	通年	北広島市	0人	0千円